

2 学期終業式を迎えて

2022（令和4）年 12 月 23 日

12 月 23 日。今日で 2 学期が終わります。2 学期もコロナ感染対策や日頃の教育活動へのご理解、ご支援をいただき、ありがとうございました。紙面を借りて深く感謝申し上げます。

2022 年（令和 4 年）も残りわずかです。先日 12 月 12 日には、一年の世相を表す今年の漢字が発表されました。今年は「戦」でした（1 位 10804 票/223768 票）。主な理由としては、ウクライナ侵攻や北朝鮮によるミサイル発射など多くの人が「戦」争への恐怖や不安を感じたこと、円安・物価高・電力不足や感染症など生活で起きている身近な「戦」い、そしてサッカー W 杯、北京冬季五輪での熱「戦」、野球界での記録への挑「戦」に関心が集まったことが挙げられていました。（公益財団法人 日本漢字能力検定協会）本校でも、大きく変わる社会情勢の中で生き抜くための力を付けるために必要な学びは何かを職員で協議し取り組んでいるところです。そういう点では挑「戦」の 1 年でした。

また、アルゼンチンが優勝したサッカーワールドカップカタール大会での日本代表の活躍には元気をもらいました。まず 1 次リーグでは強豪スペインと対戦し 2 対 1 で逆転勝ちしました。森保監督の指揮による交代戦術により、選手のコンビネーションが見事でした。そして、決勝トーナメントでは前回大会準優勝クロアチア代表と対戦 1 対 1 で延長の末 PK 戦で敗退 ベスト 8 まであと 1 歩届きませんでした。でも、勝ちを信じて戦った日本チームの姿から「壁や限界は自分でつくるもの」「可能性は無限であること」など新聞のコメントにもあったように、森保監督や選手たちから多くのメッセージを受け取ったので、今度は観ていた私たちがこれからの自分自身の力にして実行していきたいものです。

先日開催した校内マラソン大会では、自分の目標に向かって取り組む、挑戦する姿をたくさん観ることができました。毎朝のマラソンで自分のペースで走り続け、その力を出し切った姿でした。マラソン大会当日は、保護者の皆様の応援も子どもたちの力になりました。さらに、友だちが応援したことも懸命に走る力に変えられたのだと思います。まさに本校児童の合言葉「やる気 元気 優しい心根」基本理念「挑戦 自主自律 多様性尊重」にぴったり当てはまる 1 日でした。

子どもたちのリフレクション（振り返り）には「走っているととてもしんどかったです。でも最後まで頑張って走りました。ゴールするとすっきりしました。」「自己ベストが出てよかった。」「全力を出し切ることができたのでよかった。」「一番タイムがよくなった。」「粘り強くできたのがよかった。」など、挑戦した後の達成感で溢れていました。

このような行事や日々の授業を通して、友だちと学び、自分の目標達成のために努力することが成長につながっています。

3 学期も「学び 伸びる」姿をたくさん見たいと願っています。
明日から冬休み。元気に安全に過ごしてください。